公益社団法人出雲市シルバー人材センター

理事会だより

第 35 号　発行:平成 30 年 10 月 31 日

平成 30 年度第 6 回（H30.10.9）理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。

第 6 回の理事会は、理事 9 名中 9 名が、監事 2 名中 2 名が、事務局から 1 名の職員が出席しました。

第 6 回の議事は、報告 4 件（事業実績/業務報告/センター財政の収支状況の推移/適正就業委員会の開催結果)、議案 1 件（正会員の承認)、協議 1 件（出雲市シルバー人材センターの財政見通し)、その他 1 件（B 級野菜市の開催期間）でした。

事業実績等について

8 月の受注実績(請負･委任･派遣の合計額)は、3,525 万円でした。前年は 3,988 万円で、前年比 88%となりました。このうち派遣業務の実績は 681 万円となり、前年（590 万円）に比べ増加となりました。会員数は、8 月末日現在では、880 名(男 610 名、女 270 名)となり、前月より 10 名の増でした。

9 月の受注実績(請負･委任･派遣の合計額)は、3,657 万円でした。前年は 4,259 万円で、前年比 86%となりました。このうち派遣業務の実績は 727 万円となり、前年（655 万円）に比べ増加となりました。会員数は、9 月末日現在では、882 名(男 612 名、女 270 名)となり、前月より 2 名の増でした。

適正就業委員会の開催結果について

委員会は、第 1 回（H30.7.18)、第 2 回（H30.8.23)、第 3 回（H30.10.3）の 3 回開催し、会議の内容は次のとおりでした。

第 1 回の会議は、委員長、副委員長の互選、委員会所管事項の確認、課題・懸案の解決に向けた検討でした。

センターの課題としては、①請負・委任業務の落ち込み②入会会員数の伸び悩みと会員平均年齢の上昇③退会者が多い④損害賠償事故の多発⑤不適正就業⑤財政危機が挙げられ、それぞれの課題の原因・背景を含めて、各委員が確認しました。

課題解決のための方針は、①会員が有するプロパティ（能力・技術・知識・経験など）の最大活用②職群単位を軸とした就業体制づくりの 2 項目でした。

方針に基づいて、まず行うことは、①会員ができる仕事の悉皆調査を実施し、全会員就業可能業務一覧（データベース）の作成②「グループで行う業種」「小グループで行う業種」は、職群班の結成を働き掛ける。既存の職群班へは、地域を超えた連携や会員増強などを要請する③全会員就業実績一覧（データベース）の作成でした。

第 2 回の会議では、就業を希望する作業等に関する調査票（案）の検討を行いました。

第 3 回の会議では、調査票の内容及び、調査等のスケジュールを決定しました。

出雲市シルバー人材センターの財政見通しについて

平成 30 年度及び平成 31 年度以降のセンターの財政見込みについて、事務局作成の資料「第４次中期５か年計画」に基づき協議しました。

この 5 か年計画を作成するにあたり前提とした主な事項は、①配分金及び事務費収入は、30 年度以降は対前年比 10%減を見込み、派遣事業収益の伸びは 31 年度以降 1,000 千円を見込みます。②国・市補助金の総額は、変わらないと見込みます。

この結果、30 年度及び 31 年度以降も収支は赤字が見込まれ、正味財産残高が枯渇していくことが予想されます。その対応策として、事務費率を現行の 10%から 15%に改定した場合、31 年度以降の単年度収支の黒字化が見込まれるため、理事会では事務費率の改定に向けて準備を行うことになりました。

B 級野菜市について

B 級野菜市は、毎週水曜日（9 時 30 分～11 時 30 分）に開催しており、引き続き開催していく予定ですので、会員のみなさんからの多数の出品をお待ちしています。

理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は 8 名です。

定例理事会：12 月 11 日(火)(13:30-16:30
センター会議室)